



大和小だより ～令和8年3月号～

【学校教育目標】進んで学習する子 思いやりのある子 よく考えて行動する子 元気よく遊べる子
大和市立大和小学校 〒242-0018 大和市深見西 8-7-1 ☎046-261-0795

<春が来ています>

3月は、草木萌動（そうもくめばえいずる）の候から始まります。少しずつ暖かくなり、その日差しに誘われるかのように、地面や木々の枝々から萌黄色の小さな命が一斉に芽吹き始めるころです。しかしながら、2月下旬は、各地で観測史上初めての高い気温を観測するなど、4月下旬並みの陽気を迎えました。今後も気温が上下しながら春に向かっていくと思いますが、校庭のたくさんの桜の木の開花はいつになってしまうのだろうと、少し気になっています。

気がつくと、足元では、いつの間にか名もない草花が、小さな花を咲かせていました。AIで調べてみると、「おおいぬのふぐり」と名前を教えてくださいました。どんな草にも名前があるという言葉を思いながら、以前修学旅行の下見で行った富弘美術館を思い出しました。そこには、星野富弘さんの作品が展示されていました。星野さんは、日常の何気ない風景や、草花に心を寄せ、水彩画と詩で表現したすてきな詩画を世に出されました。それらの作品は、多くの人の心を打ち、教科書の教材になったり、合唱曲の歌詞などになったりしています。ご本人は、残念ながら2024年にご逝去されてしまいましたが、残された作品の持つあたたかさ、やさしさは、私たちに生かされていることの喜びや希望を、与え続けてくれています。

「今日という日は二度と来ない 二度と来ない日が毎日来る」このような書き出しで始まる作品が、あります。

どんな気持ちであっても、「目覚めれば スイッチを入れないのに 目には画像が映り 気がつけば 呼吸をしている」毎日が訪れます。大和小学校で卒業に向けて、毎日頑張っている6年生、進級に向けて準備に余念がない1～5年生は、全員が楽しい気持ちで毎日を過ごしたいと思っているはずです。

どうすれば楽しい気持ちで過ごすことができるでしょうか。クラスの友だちや家族と、どのような気持ちや態度で接すれば、楽しい気持ちになるでしょうか。残り少ない3学期ですが、今のクラスは、もう二度と来ません。思い出に残るクラスにしてほしいと願っています。

※星野富弘詩画集から一部引用させていただきました。

（学校長）

マイケル・ジャクソンの代表曲「Beat It」。直訳すると「それを叩け」です。ストリートギャングの抗争を描いた歌詞や PV と相まって、「気に入らないヤツをやっつける!」という曲のように思いがちですが、実は「Beat It」にはスラングで「立ち去れ」「逃げろ」という意味があるそうです。

では、マイケルは何から「逃げる」のでしょうか。自分の解釈は「逃げる」より「避ける」が近いです。暴力による解決を「避け」、勇気や信念を持って別の方法で戦おうという強い意思がこの曲から感じられます。

PV の中でマイケルは、激しく歌い踊りながらギャングチーム同士の抗争を仲裁します。マイケルに感化された双方のリーダーが踊り始め、踊りの輪が広がり、最終的には音楽とダンスの力で対立が解消され、全員が一体となって踊ります。この曲には、暴力に代わる解決策のヒントが隠れているように思えます。

※ネット情報ですが、「Beat It」⇒「逃げる」の由来は「退却太鼓の合図」説や、「足を速く動かす（足で地面を叩く）」説があるそうです。

（教頭）